

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都千代田区神田神保町3-29-1

今週の注目材料 = 前回かなりの弱さを見せた米雇用統計、今回は？

2019年7月1日

5日金曜日に、6月の米雇用統計が発表されます。

前回の雇用統計は非農業部門雇用者数 (NFP) が予想を大きく下回るわずか7.5万人増となりました。

予想は17.5万人増でしたので、10万人も予想を下回るという弱い数字。さらに前々回4月分の数字が速報時点での26.3万人増から22.4万人増に大きく下方修正されており、比較元が下方修正されているにもかかわらず予想を大きく下回る数字と、かなり厳しい結果となりました。

失業率は予想及び前回と同じ3.6%で49年ぶりの低水準を維持。

平均時給は前月比0.2%増、前年比3.1%増とともに予想を下回りました。

市場は予想外の雇用の弱さに、米国の利下げ期待を強める結果に。一時は6月のFOMCでの利下げまで意識される場面まで見られました。6月18日・19日のFOMC前には過度な利下げ期待は後退しましたが、7月末のFOMCでの利下げの織り込みが進む現状には前回の雇用統計の弱い結果が影響していたとみられます。

前回の非農業部門雇用者数の詳細をみると、景気動向に比較的敏感で雇用の流動性も高い小売業が7600人減と、4カ月連続で雇用減を記録していることが気になります。小売りは、デパートを除く総合小売りが堅調なほかは、全般に雇用が弱く、消費の減退が気になるところ。

その他の部門では情報、運輸などが弱く、医療・介護もいつもの強さがない印象です。運輸関連は小売同様に比較的景気に敏感な部門で、やや気になります。

こうした状況を受けて、今回の見通しですが、予想は非農業部門雇用者数が15.8万人増と、前回からは回復の期待になっています。もともと、前回、前々回が修正無しだと3か月平均15.2万人増になる格好で、水準的には少し物足りないところです。

なお、先行指標として意識されながら、実際の雇用統計の変化との乖離が指摘されるADP雇用統計は14.0万人増の予想。前々回の本番同様の強さに続いて、前回は本番の雇用統計同様に予想を大きく下回る弱い結果となり、ここに来て先行指標としての面目躍如となっているだけに、予想通り戻せるかどうかも確認しておきたいところです。

なお、人材募集のオンライン広告などがこのところ低調という話もあり、米景気を支えてきた雇用市場の堅調さへの警戒が広がる中だけに、予想通りもしくはそれ以下の数字が出ると警戒感が広がります。7月の利下げ期待をもう一段引き上げる格好でドル売りが強まる可能性が高そうです。個人消費との関連が強い平均受給と合わせて注意したいところです。

米雇用統計以外の注目材料としては、利下げ見通しが広がる2日の豪中銀(RBA)金融政策理事会が挙げられます。

2日のRBA理事会は、前回6月4日の理事会に続いて0.25%の利下げが見込まれています。

前回約3年ぶりの利下げに踏み切り、豪州としての史上最低金利水準を更新したRBAですが、同回の議事要旨の中で、さらなる緩和が適切となる可能性が大きいと示しており、年内の追加利下げが既定路線となっています。

RBAのロウ総裁も前回の利下げが経済成長を回復させるには不十分という姿勢を示しており、追加利下げについて、「（政策金利である）OCR：オフィシャルキャッシュレート」のさらなる引き下げを見込むことは、非現実的ではない」という表現で、利下げ見通しを示しています。

もっとも、それが今週2日の理事会での実施かどうかという点については、微妙なところ。

金利市場の織り込みでは7割台、専門家による見通しでも6割台と、大勢の見通しは利下げに向かっています。ただ、無視できない割合で据え置き見通しが残っており、結果がどちらに振れても相場への影響が残ります。

豪中銀に先駆けて5月の理事会で利下げに踏み切ったNZ中銀は、先週の理事会では金利を据え置いており、次回8月の理事会での利下げ見通しが広がる展開。両国は経済構造が似ているようで結構違いがあるということもあり、豪中銀としても本来気にかけているわけではないと思われますが、利下げへのプレッシャーは軽くなっているとみられます。今回据え置き、声明で今後の追加利下げを強く示唆といったあたりが、瞬間の値動き(据え置きと出た瞬間に買われる可能性が否定できないため)はともかく、中期的には一番落ち着いた反応になるかもしれません。

山岡和雅 | minkabu PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。（社）日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。